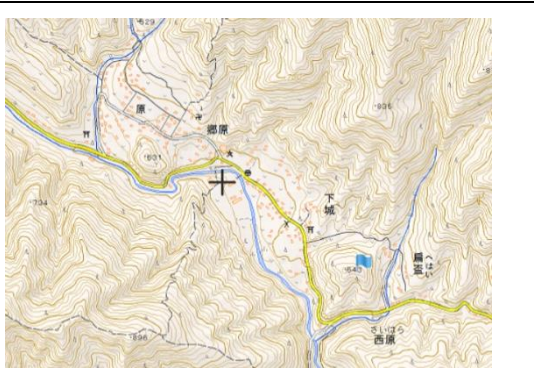


地域名	山梨県 <sup>うえのはら</sup> 上野原市 <sup>にしはら</sup> 西原地域	
地域運営組織名	特定非営利活動法人さいはら	
①地域の概要	<p>山梨県上野原市西原地区は、山梨県最東部の県境、上野原市の西端に位置しており、中央道上野原 IC、JR 上野原駅までは車で約 30 分の距離にある自然豊かな中山間地域である。</p> <p>中山間地域であり、車がやっと通れるような急な山中に独居で暮らすお年寄りもいて、孤独死は地域のコミュニティでも大きな課題となっている。</p> <p>平成 25 年度、国交省の過疎地対策である「小さな拠点」づくりモニター調査取組の一環として、生活支援住民アンケートを実施。その集約結果から、西原住民の多くが何らかの高齢者支援サービスを求めていることが明らかとなった。この結果を受けて、NPO 法人さいはらでは、上野原市役所の担当課と協議しながら「羽置の里びりゅう館」を活用した介護予防サービス、独居高齢者や障害者への配食サービス、移送サービスなどに取り組んでいる。</p>	
②面積・人口・世帯数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面積： 3,671ha (小学校区)</li> <li>・人口： 569 人</li> <li>・世帯数： 268 世帯</li> <li>・高齢化率： 48.3%</li> </ul> <p>(平成 27 年国勢調査時点)</p>	
③中核施設の概要	施設名称	「羽置の里びりゅう館」
	開設時期	平成 13 年
	設置方法	公設
	設置主体	上野原市
	運営方法	民営 (指定管理制度)
	運営主体	特定非営利活動法人さいはら
	売上額	約 20,000 千円 (平成 27 年度)

④拠点エリアに集積している機能	機能	施設名	運営主体
	買い物	羽置の里びりゅう館	特定非営利活動法人さいはら
	交通	・デマンドタクシー停留所 ・路線バス停留所	上野原市 富士急山梨バス(株)
	観光	平野田休養村	上野原市
	行政	上野原市役所 西原出張所	上野原市
	医療	上野原市立病院附属 西原診療所	上野原市
	福祉	羽置の里びりゅう館（介護予防「元気いきいき教室」、配食サービス）	特定非営利活動法人さいはら

⑤拠点づくりの中心主体

特定非営利活動法人さいはら

⑥拠点づくりのプロセス	背景、経緯	<p>西原地区では、平成 13 年都市住民との交流を目的に国の中山間地域農村活性化事業を活用し「羽置の里びりゅう館」を建設した。西原地区は中央自動車道上野原 IC や JR 上野原駅から車で約 30 分という立地ながら、観光事業の育成や宿泊施設整備などが不十分で、その機能を果たしているとはいえない状況にあった。</p> <p>西原地域は高齢者率が市内で最も高く、山間傾斜地に住居が点在するため、高齢者の見守りに大きな課題を抱えていた。そこで、都市農村交流の拠点である「びりゅう館」で新たに高齢者福祉サービスを展開することにより、地域住民のための生活サービス機能も併せ持つ「小さな拠点」をつくろうと平成 25 年度に「小さな拠点」づくりの検討を取組みはじめた。</p>
	手法	<p>平成 25 年に、NPO 役員を中心に区長会や市議員等を含めた検討委員会を立ち上げ、「びりゅう館」を所管する市担当課（経済課）もオブザーバーとして参加し、NPO と情報共有や連携を図った。また委員会のもとに『高齢者福祉サービス部会』を設け、福祉部門の担当課（長寿健康課）がメンバーとして参加、事業内容に応じた連携を図り活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度：国交省「小さな拠点」モニター調査実施</li> <li>・平成 25 年度～平成 27 年度：農水省都市農村共生・対流総合対策</li> </ul>

		<p>交付金共生・対流促進計画事業を活用した。</p>
	サービス・活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・羽置の里びりゅう館（上野原市指定管理委託） 食堂、農作物直売所、手打ちそば教室</li> <li>・食堂スタッフ、調理設備を活用した配食サービス</li> <li>・介護予防サービス（保健師の派遣による行政連携）</li> <li>・送迎用移送サービス（市の払下げ車両を利用）</li> <li>・地元食材を使った西原特産品の開発製造販売</li> <li>・交流事業</li> </ul> <p>国際交流：数年前より JICA の依頼で、ウガンダ・ベトナムなど各国の研修を地元住民と協力して受入れている。</p> <p>都市部交流：池袋の NPO 関連で月 1 回程度、畑仕事グループを受入れ、獣害調査を大学と連携などの都市住民との交流を行う。</p> <p>地域交流：地元老人会、小学生の習字教室など事務局業務などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住定住促進</li> </ul> <p>上野原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一環として、西原・桐原をモデル地区とした移住定住促進事業、空き家バンク登録推進活動（マッチング）などを NPO が窓口となり行っている。</p>
	拠点までの交通手段	<p>上野原市にある病院、介護施設、スーパーへ行くためのデマンドタクシーの利用（500 円程度）、路線バス（平日午前 2 本、午後 1 本程度）、介護施設の送迎など移送サービスを NPO で行っている。</p>
	運営	<p>昭和 56 年頃から地元有志で地域活性化に取組み、平成 4 年に西原 9 地区の区長会等で構成する任意団体「西原地域活性化推進協議会」を設置。平成 13 年に国の中山間地域農村活性化事業により「羽置の里びりゅう館」を建設。平成 21 年、西原地区の地域活性化を目的に NPO 法人さいはらを有志 22 名で設立。「西原地域活性化推進協議会」と連携し、現在は地元住民を中心に 50 名程の会員で活動している。協議会と NPO は別組織ではあるが、メンバーの重なりも多く、ほぼ一体の組織として活動を展開している。</p>
⑦効果		<p>福祉サービスに関しては、平成 26 年 10 月から非介護認定者を対象に市の介護予防サービス事業を開始し、定員を上回る利用があった（平成 27 年度は延べ 88 人）。上野原市も保健師の派遣や送迎バスのレンタル費補助金等を通じて支援をしている。さらに、限られたスタッフを「合わせ技」で活用し、利用者へ食事の提供等の配食サービスも行っている。移送サービスに関しては車両の確保に苦慮したが、平成 26 年 11 月、市の中古公用車の払い下げを受け専門車両が確保でき、NPO の運営により翌年 1 月よりサービスを開始した。</p> <p>また、地元食材を使った西原特産品を「羽置の里びりゅう館」や観光施設で販売するなど加工品製造の独自ブランドづくりにも力をいれている。（年間売上 100 万円程度。）</p>

<p>⑧課題</p>	<p>高齢化する西原地区は、高齢者の見守りに大きな課題を抱えていた。羽置の里びりゅう館は農林水産省の補助事業を活用して建設された施設となり、「小さな拠点」づくりプランでまとめた住民ニーズの高い新たな福祉サービスを提供するには、目的外使用に係る財産処分手続きが必要などの制約があり、市も簡単に事業展開を支援しにくいという課題があった。西原地区の人口規模は事業採算の面からみても介護保険対象の介護施設として継続的な事業展開が困難との指摘もあった。そこで介護施設を求める地域の声に対応し施設の改修を伴わない「介護予防教室」「移送サービス」「配食事業」などの事業を行いはじめた。</p> <p>年々減少していく人口の横ばい化に向け、移住促進活動にも力をいれている。ここ数年、定年世代の移住だけでなく若者世代（シェフやカメラマン、農業従事者）が移り住むようになってきた。一度は地域を離れた若者たちのUターン促進の後押しとなることを期待している。</p>
<p>⑨写真</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>■羽置の里びりゅう館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>■元気いきいき教室の様子</p> </div> </div>
<p>出典</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省国土政策局『実践編：小さな拠点づくりガイドブック』</li> <li>・CANPAN 団体情報  <a href="http://fields.canpan.info/organization/detail/1419486020">http://fields.canpan.info/organization/detail/1419486020</a></li> <li>・限界集落活性化の取り組み～上野原市西原地区まちづくりの活動～        上野原市都市計画課 中村慎氏作成</li> </ul>